



京都大学 東京オフィス 東京で学ぶ 京大の知

参加費
無料

シリーズ3 安心安全生活まちづくり

現代の都市においては、自動車の増加によって交通事故が増大し、環境が悪化し、乱開発によって美しい景観が損なわれ、地域のお医者さんの数が減少して地域医療が崩壊の危機に直面するなどの問題が発生しています。

このような問題を解決し、人々が安心して生き生きと生活して、健康に働ける都市をつくるために、医学・工学の「知」を集めて、新しいまちづくりの方法を考えてみましょう。

ここでは、安心・安全、健康・快適という視点から、都市において子供からお年寄りまで本当に生き生きと活動できるためにどのようなまちづくりをすればよいかを、交通、地域医療、景観、人間の感性などのさまざまな観点からお話します。

—開催日時—

◇第1回 2011年5月9日(月)18:00~19:30

「交通・物流とまちづくり」

谷口 栄一(大学院工学研究科教授)

人々が安心・安全な環境で生き生きと健康に暮らすことができるためには、どのような交通システムや物流網を作ればよいのか。高度な情報システムを活用し、住みやすいまちをつくるための交通・物流について考える。

◇第2回 2011年5月16日(月)18:00~19:30

「地域医療とまちづくり」

野本 慎一(大学院医学研究科教授)

超高齢社会が進行し、人口減少と共に地域医療の崩壊が危惧されている中、公共サービスとしての地域医療を維持していくには、まちづくりが密接に関係している。現状の問題点をふまえ、今後の展望について考える。

◇第3回 2011年5月23日(月)18:00~19:30

「景観とまちづくり」

川崎 雅史(大学院工学研究科教授)

豊かな自然環境と広がりのある眺望と共に、人々が文化的で健康な活動を行うことのできるまちのあり方を景観論・都市設計の視点から考え、京都における都市景観の誘導指針や公共施設の実践的事例について紹介する。

◇第4回 2011年5月30日(月)18:00~19:30

「人間の感性とまちづくり」

精山 明敏(大学院医学研究科教授)



ヒトは、“まち”の構成要素である景観や交通網そして建物をどのように感じ、どのように認識しているのか？そしてそれはどのようにまちづくりに役立てることができるのか？

脳科学の観点からヒトの感性に基づくまちづくりを考える。



—申込方法—

全4回のシリーズですが、1回のみご参加いただくことも可能です。

参加ご希望の方は、東京オフィス ホームページから申込用紙をダウンロードし、ファックスまたはメールでお申し込み下さい。

各回定員100名とし、申し込み締め切りは4月25日(月)となります。なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。

各回の詳細はホームページにてご確認くださいませ。そのほか詳しくは東京オフィス事務室までお問い合わせください。

—開催場所・問い合わせ先—

京都大学 東京オフィス

東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟27階

TEL: 03-5479-2220 FAX:03-5479-2221

E-mail: t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

URL:

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>



主催：京都大学 後援：朝日新聞社